



未就学の部

平成21年度9月号 NO.6

さあ！2学期が始まりました。多くの学校では運動会に向けて日々練習が続いているようですね。ちょっと疲れた様子を見せながらも・・・つぼみに来ると もう一頑張りを見せてくれています。その頑張りに応えるべく取り組んでいます。

さて、その一方で気になる話題も・・・近隣の幼稚園・保育園・小・中学校でインフルエンザの流行も聞かれ心配事もあります。つぼみではインフルエンザ対策として、利用時の手洗い・消毒 必要に応じてマスクの着用を徹底しています。疲れやすいこの時期の健康管理に注意を払って行きたいと思います。



今月のすがた

暑かった夏休みが終わり、活動場所もプレイルームへ。9月の活動の始まりです。40日程の夏休みを振り返ってみると...「おうどん作ったね」「たまねぎの皮むきもしたね」「おにぎりもにぎったね」と沢山のうれしそうな声が聞こえてきそうです。子供たちにとって金曜日のお兄さんお姉さん達との交流・昼食作りはとても楽しい思い出になりました。憧れ！の小学生ってどんな感じ？と興味津々だった子も、大きいお兄さん達はどんなことをしてるの？と思っていた子も、交流を通して色々なこと感じ体験することができたのではないのでしょうか。

また、ファミレスに行っのランチや小学生と自由遊び時間での交流もありました。ファミレスに行く時、バス停に向かって一番に出発したはずなのにバス停に着いたら最後尾！メニューも予め決めて注文もさっさとしたのに食べ終わったのは一番最後。おまけに帰りのバスの時刻が迫りバス停までダッシュ！！自由遊びの時間もいつもの調子で遊んでいたら...車を走らせるスピードは速いし、遊びの展開も速い。子供達は楽しくもあり、驚きの連続でもあり。未就学との違い、小学生の部の様子が少しでもご家庭にも伝わればと思っています。

その他、制作では空き箱を利用した水族館を作りました。同じ型で抜いた魚とヒトデ。ワカメや藻に見立てた綿やフェルト。気泡のスパンコール。と材料はみな同じなのですが、出来上がった作品は本当に様々で、お魚達が集まっておしゃべりしていたり、藻の中にかくれんぼしてみたり、移動中のヒトデもいたり...それぞれストーリーがあり楽しい作品に仕上がりました。

交流会や夏休みの作品作りと色々な活動をした夏休みですが、ここで今一度大切にしていきたいことがあります。それは、「基本的な生活習慣を身につける」ということです。今さらそんなことを言われなくてもと思われるかもしれませんが、まだ小さいから、大人がやってしまった方が早いからと、先回りして済ませてしまっていることが多いのではと思うことが度々あります。食事中に手や口の周りが汚れたら、手や口を突き出して「拭いて」ではなく、自分なりにでも拭くこと。足をしっかり床につけてまっすぐ椅子に座ること。自分でズボンをはいたら片方の裾から両足がニョキ！そのおズボン後ろ前！何ていうのはご愛嬌ですが、「お出かけ前の身だしなみ、OK！」はどうでしょうか。つぼみから公園に行く時でも、シャツ出でない？ズボンちゃんとはけてる？靴も右左合ってる？等等など。ちょっとそこまでの公園でも「かっこうをつけて！」出かけていきます。未就学の時期は療育などを通じたより早い段階での働きかけも大切だと思いますが、それとともに、幼稚園や学校という社会集団に出て行く前段階としての基本的な習慣(身だしなみ)を身につける事も大切ではないのでしょうか。上手くできなくても、気づく・心掛けることは、小さな子どもでも繰り返してやっていく中で少しずつでも身につけていくことだと思っています。「子

供達のために」つぼみとご家庭とで協力し働きかけていかれたらと思います。

スタッフ紹介

光陽福祉会 事務局



事務局長
菊池 利哉



局長代理
浅野 尚美



事務員
松田 敦子

児童デイサービス

学童の部



センター長
古田 真理華



中島 由貴



島塚 立江



中村 雅代



山中 のりよ



村瀬 真理

学童の部

未就学の部

移動支援



大石 結実



松原 万尋



八木 恵



井原 由歌



臼井 佳代



笠原 恵美

Kのひとこと

つぼみには、地獄のミーティングがある。月曜日と木曜日に顔を出す局長は、この日の様子が日々の様子だ。と決めつけ、午後6時45分から地獄のミーティングが始まる。そのミーティングでKのテンションが頂点にたいた頃に必ず起きる事件がある。チョロチョロチョロチョロと水洗トイレの水が流れる音がする。そう、今月紹介するのは、そんな音を携帯の着信音にする山中先生。

体は小さいが、気持ちは大きい。ある時は、小さい体に子どもが何人も寄ってきて、蹴られて、殴られて、振り回されて。それでも、山中先生は、浅野代理に謝る。「私がダメなんです。子どもたちには問題ありません。」そう山中先生はいつも子どもの近くにいる。つぼみ職員の中でも、群を抜いて子どもの気持ちに近い人。

小さな体だけど、大きな心と秘めたパワーがある。親さんたちとの会話は得意な人じゃない。だけど、親さんたちとの会話だけが、つぼみの元来の姿じゃない、現場で必死に関わる山中先生のような姿が、つぼみである。ことも、知ってください。